

平成26年度 第2回
三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部会議概要

1 開催日時：平成27年3月2日（月）10:30～10:50

2 開催場所：プレゼンテーションルーム

3 議事概要：以下のとおり

（○挨拶、●事務局説明・回答、☆意見・質問）

○知事挨拶

- ・「人口ビジョン」は、「人口の現状分析」と「人口の将来展望」の大きく2つのパートに分かれる。本日は、「人口の現状分析」の一部について事務局から説明があるので、これまでの人口動向を理解するとともに、将来人口に関するシミュレーションを行うにあたり、どのようなシナリオを描く必要があるのか、しっかりと議論をしてほしい。
- ・「総合戦略」については、事務局から「策定にあたっての基本的な考え方」が説明されるので、各部局において、これまでの事業の検証を行った上で、検討を進めてほしい。
- ・特に、既存の取組の延長線上で考えるのではなく、課題を的確に把握することが大切だと考えているので、よろしく願いしたい。

議題1 三重県人口ビジョン等の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について

●大橋企画課長（資料1及び資料2に基づき説明）

人口動向分析・将来人口推計は、大きく「Ⅰ 三重県の人口動向」と「Ⅱ 三重県の将来人口」に分かれており、さらに、「Ⅰ 三重県の人口動向」では、「1 三重県の人口動向分析」、「2 人口の自然増減の要因分析」、「3 三重県における人口移動（社会増減）分析」に分かれている。

「Ⅱ 三重県の将来人口」では、パターン1として社人研推計、パターン2として日本創成会議推計に準拠した将来人口推計を掲載しているが、これは、人口減少対策を実施しない場合の推計を意味しており、今後考える将来展望のベースになるものである。

以上の「人口動向分析・将来人口推計」を基に、「人口ビジョン」の前半の「人口の現状分析」は書き込みを行い、後半の「人口の将来展望」は項目のみとする骨子案を作成し、第3回本部会議でお示ししたい。

一方、政策努力の結果として将来の展望を描くためには、複数のシナリオを検討する必要があるため、自然増減に関する前提条件としての「合計特殊出生率」と、社会増減に関する前提条件としての「転入超過数」を仮定値として、「合計特殊出生率」を変えた2つのパターン、「転入超過数」を変えた3つのパター

ンで検討したいと考えている。

事務局としては、これら2パターン×3パターンの合計6パターンのシミュレーションを行いたいと考えているが、これらに加えて検討するシミュレーションがあれば、この後ご議論いただきたい。

議論の結果追加するシミュレーションを含め、ベースとなる社人研の人口推計と比較できる形で、次回の第3回本部会議でお示ししたい。

☆佐々木医療対策局長

女性の20歳から30歳台が、2005年から2010年にかけて転入が大きく減少した理由は何か。

●森企画課主幹

2005年から2010年は、特に外国人が転入超過から転出超過に転じたことが、25歳から29歳の女性全体の純移動の減少に大きく寄与していると思われるが、原因については詳細を分析している。

☆小林企業庁長

市町別のデータは示さないのか。

また、沖縄県に続き、宮崎県や島根県の合計特殊出生率が高いのはなぜか。

●大橋企画課長

市町別や県内地域ブロック別の分析は行っているが、数字のひとり歩きを防ぐために、今後、確実なものから示していきたい。

合計特殊出生率については、西日本で高い傾向にあるが、突出している県については、今後分析を加えていきたい。

☆知事

市町別のデータ、特に市町間の移動については、市町の総合戦略等の参考にしてもらうために、しっかりと分析してから、出してもらいたい。

将来人口については、このまま放置した場合の「推計」と施策を実施した場合の「シミュレーション」は異なるため、しっかりと認識しておいてほしい。

議題2 三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたっての基本的な考え方について

●大橋企画課長（資料3に基づき説明）

「1. めざすべき姿」の「(2) ライフステージごとの現状と課題（少子化対

策関係)」については、「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」で「重点的な取組」として位置付けられている項目を機械的に記載したもので、総合戦略に記載する少子化対策関連の取組については、今後、調整していく予定である。

「(4) めざすべき姿」として「希望がかない、選ばれる三重」を掲げるとともに、「2. 基本的な視点」では、(2) 三重県独自の基本的な視点として、

- ・「攻めの対策」と「守りの対策」
- ・「三重らしさ」「三重ならではの」を追求
- ・「量」と「質」の向上

などを掲げている。

「4. 次期行動計画との関係」は、「次期行動計画に先立って第1版を策定」し、「次期行動計画における重点戦略に位置づけ」とともに、「次期行動計画策定時に合わせて第2版をリリース」したいと考えている。

「5. 策定・検証体制」のうち、庁外は県民代表やいわゆる産官学金労言の代表者等で構成する「三重県地方創生会議（仮称）」を設置して、多くの分野から幅広くご意見をいただきたいと考えている。

以上の基本的な考え方にに基づき、基本的な取組方向や取組項目を整理し、骨子案として次回の第3回本部会議でお示ししたい。

☆知事

今説明のあった枠組みにどのような施策を盛り込むのかをしっかりと議論してほしい。

私からは、

- ・県内の現状と課題に基づき、三重県の強みを伸ばし、弱みを克服する対策を構築することで、「三重県らしさ」、「三重県ならではの」を追求すること。
- ・今回の地方創生先行型の交付金を活用した取組は、人口減少を抑制する「攻めの対策」が中心となっているが、人口が減少するという現実に適応する「守りの対策」も重要。今一度点検をして、得られた視点から対策を検討すること。
- ・3月には県民代表や産官学金労言の代表者等で構成する「三重県地方創生会議（仮称）」を設置して、多くの分野の幅広いご意見をいただく予定であるが、各部局で既に設置している各種会議も利用して、市町をはじめ、パートナーや関係者の方々と十分に協議を行うこと。

の3点をお願いしたい。